

鉄 道

(J R 常 磐 線)

- ① 不通区間：広野～原ノ町、相馬～浜吉田
- ② 相馬～浜吉田駅間について、まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、J R 東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討。
この検討結果等を踏まえ、ルート移設等により用地取得等を前提として、本年春の工事着手、平成 2 9 年春頃の運転再開を目指す。
- ③ 福島第一原子力発電所事故に伴い設定された避難指示区域内の区間（広野～原ノ町）については、線路上の空間線量調査（環境省（磐城太田～浪江駅間、富岡～広野駅間））を行うとともに、駅施設等の除染を必要に応じ実施するなど、「避難指示区域内における J R 常磐線復旧に係る検討チーム」において、J R 常磐線の復旧調査・工事を進めていく上での課題に対応するための支援を実施。
上記取り組みにより、除染を含む復旧方法の見通しが立ったことから、J R 東日本は、一部区間（広野駅～竜田駅間）において、本年春の櫛葉町の帰町判断に合わせ運転再開見込み（J R 東日本において公表済み）。
- ④ 平成 2 5 年度における成果
相馬～浜吉田駅間については、平成 2 5 年春頃より用地取得に着手し、8 割を超える進捗状況。
広野～原ノ町駅間の運行再開に向けた関係者間の調整のため、「避難指示区域内における J R 常磐線復旧に係る検討チーム」において、線路上の空間線量調査（環境省（桃内～浪江駅間、富岡～竜田駅間））及び本年春の櫛葉町の帰町判断に合わせ運転再開見込みである竜田～広野駅間の駅舎等の除染（環境省（竜田駅、木戸駅））を実施。
- ⑤ 平成 2 6 年度の成果目標
相馬～浜吉田駅間については、本年春に工事着手し、平成 2 9 年春頃の運転再開を目指す。
福島第一原子力発電所事故に伴い設定された避難指示区域内の一部区間（竜田～広野）については、運転再開を確実に実施できるよう関係者間の調整を図っていく。
他の区間についても、除染の進捗やまちの復興状況を踏まえつつ、早期運転再開に向けた取り組みを進めるよう引き続き J R 東日本を指導。

インフラ復旧の工程表（鉄道）

平成26年3月末現在

●→ : 工程が見込めるもの ●.....→ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成果)	H26年度に実施すること(目標)	H26年度				H27年度				H28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
交通網・鉄道																		
JR常磐線	JR東日本	不通区間： 広野～原ノ町、 相馬～浜吉田	<ul style="list-style-type: none"> 相馬～浜吉田駅間については、平成25年春頃より用地取得に着手し、8割を超える進捗状況。 広野～原ノ町駅間の運行再開に向けた関係者間の調整のため、「避難指示区域内におけるJR常磐線復旧に係る検討チーム」において、線路上の空間線量調査(環境省(桃内～浪江駅間、富岡～竜田駅間))及び本年春の楢葉町の帰町判断に合わせ運転再開見込みである竜田～広野駅間の駅舎等の除染(環境省(竜田駅、木戸駅))を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 相馬～浜吉田駅間については、本年春に工事着手し、平成29年春頃の運転再開を目指す。 福島第一原子力発電所事故に伴い設定された避難指示区域内の一部区間(竜田～広野)については、運転再開を確実に実施できるよう関係者間の調整を図っていく。 他の区間についても、除染の進捗やまちの復興状況を踏まえつつ、早期運転再開に向けた取り組みを進めるよう引き続きJR東日本を指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ●→ 広野～竜田 復旧工事等 ●.....→ 竜田～原ノ町 ●.....→ 相馬～浜吉田 													<ul style="list-style-type: none"> 相馬～浜吉田駅間については、ルート移設等により復旧することし、用地取得等を前提として、平成29年春頃の運転再開を目指す。 除染を含む復旧方法の見通しが立ったことから、JR東日本は、一部区間(広野駅～竜田駅間)において、本年春の楢葉町の帰町判断に合わせ運転再開見込み(JR東日本において公表済み)。

※本工程表に記載の内容については軽微な修正を行う場合があります。